



71110-XMKB-K0S0 FIT FRONT UNDER SPOILER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行ってください。

[適合車種] FIT DBA-GK3・4・5・6 DAA-GP5
GK3～6-130・340 RS/13G・S
GP5 -130・340 HYBRID・S

[色記号]	無限色	ホンダ色記号	色名
	PX	NH875P	プレミアムホワイト・パールⅡ
	HG	NH880M	シャイニング・グレー・メタリック
	CB	NH731P	クリスタルブラック・パール
	RM	R565M	プレミアムクリスタルレッド・メタリック
	BT	B593M	ブリリアントスポーティーブルー・メタリック
	RA	RP58M	ルージュアメジスト・メタリック
	YP	Y70P	プレミアムイエロー・パールⅡ
	SN	YR585	サンセットオレンジⅡ
	ZZ	-	未塗装

※色記号はサービスインフォメーションプレートで確認してください。

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんので御了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業1課

【営業時間10:00～17:00（土日・祝日除く）】

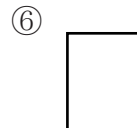
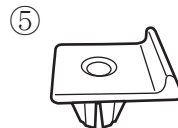
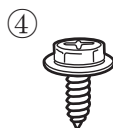
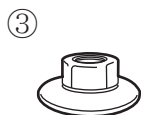
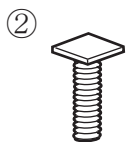
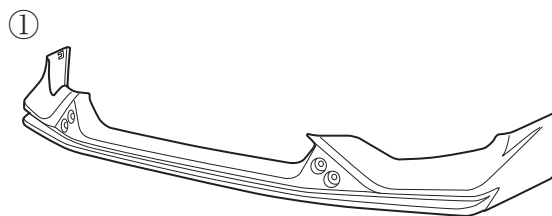
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. フロント アンダー スポイラーが事故や接触等により破損・変形した場合は、直ちに修復するか取り外してください。
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. フロント アンダー スポイラーの取り付けによってバンパー部の地上高が低くなり、縁石、駐車場の車止めや段差等の通過の際、フロント アンダー スポイラーを擦る恐れがありますので、十分注意して運転してください。
3. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。フロント アンダー スポイラーに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
4. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。

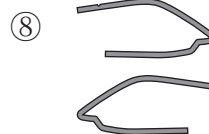
【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	フロント アンダー スポイラー	1
②	スクエアヘッドボルト	2
③	フランジナット	2
④	タッピングスクリュー	2
⑤	グロメット	2
⑥	型紙 a、b	1



未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑦	モール (グレー/ブラック)	各 1
⑧	マスキングテープ (L/R)	各 1



【必要工具】

- ・ドライバー + ・クリップリムーバー ・ドリルφ3、φ6、φ10
- ・ラチェットレンチ 10mm ・ハサミ ・イソプロピルアルコール ・ウエス
- ・マスキングテープ ・キリ

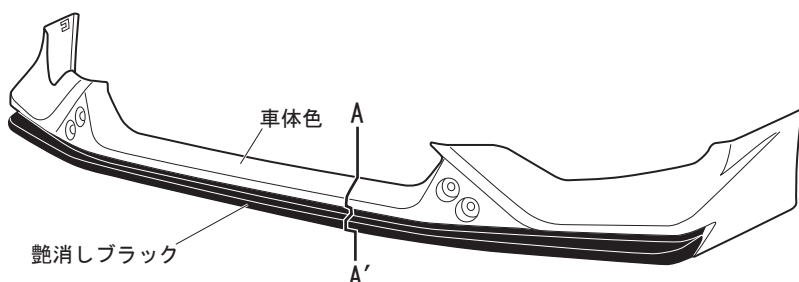
◆◆塗装作業の注意事項◆◆

- 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意ください。
- その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行ってください。
- 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

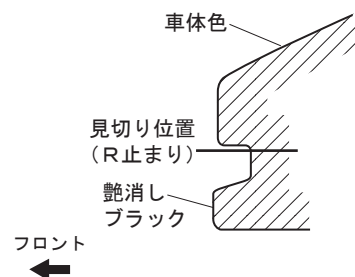
推奨品 塗料：2液製アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

塗装の塗り分け

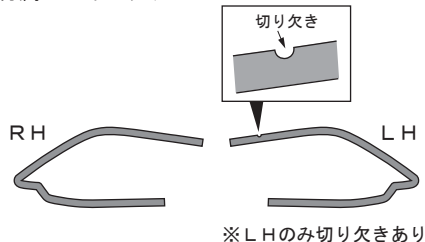
塗り分け塗装推奨：ツヤ消しブラック



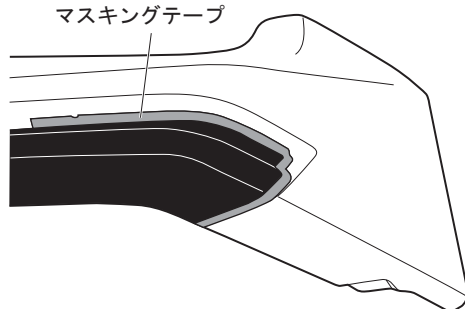
塗り分けの見切り位置
SECTION A-A'



付属マスキングテープ



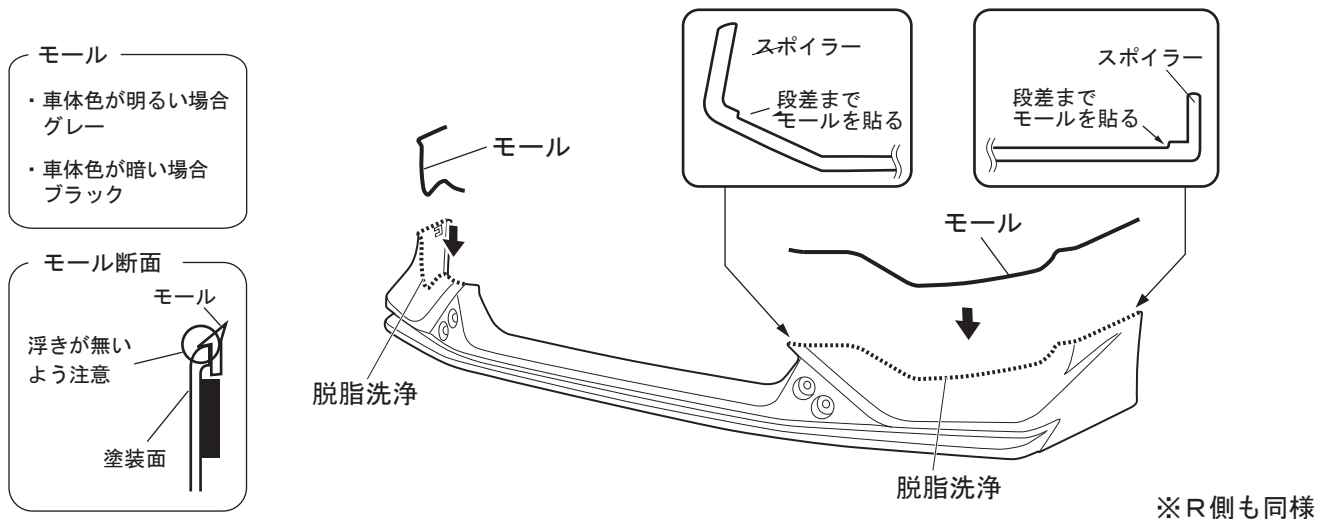
マスキングテープ



I. 取付準備

- 《注意》・フロント アンダー スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・作業は左右同様に行うこと。

- ①未塗装品の場合は塗装後、モールをフロント アンダー スポイラーに貼り付ける。
この時、貼付け面を脱脂すること。

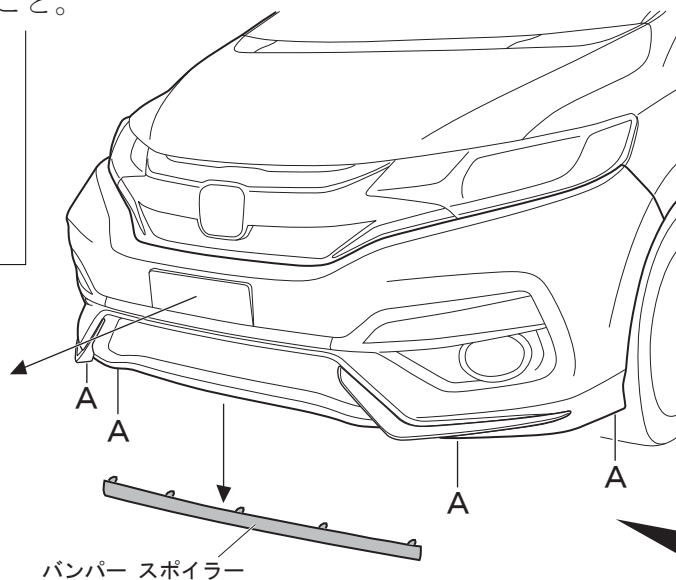


- ②車体からクリップ（A）を取り外し、フロントバンパーおよびバンパー スポイラーを取り外す。（サービスマニュアル参照）
- ※取り外したバンパー スポイラーおよびクリップ類は、再利用するため紛失や破損に注意すること。

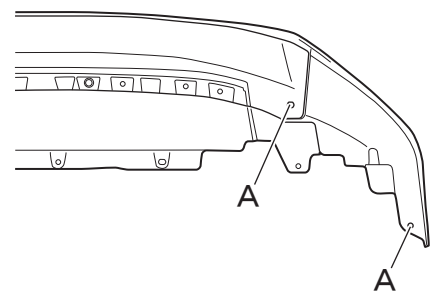
A (4)



クリップ
(再利用)

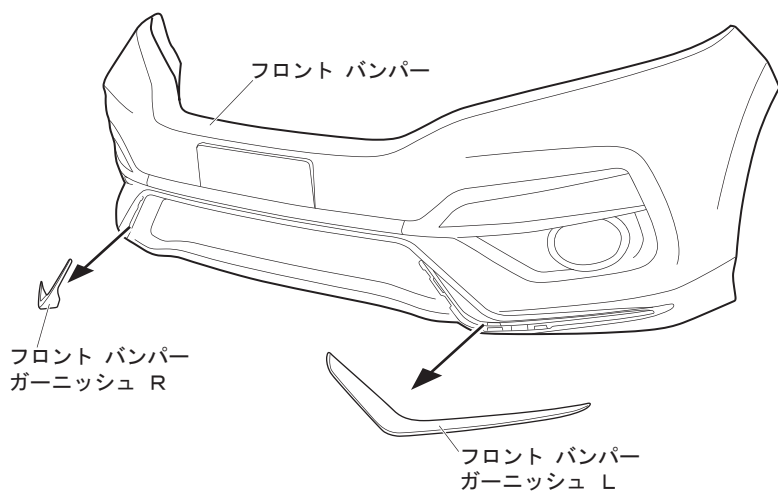


フロントバンパー下面視（L側）

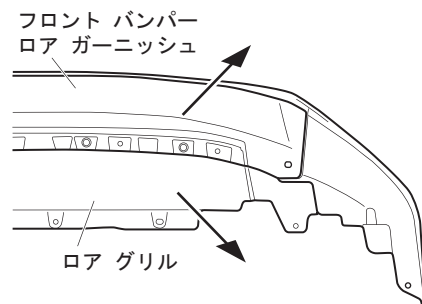


※R側も同様

- ③フロント バンパーから左右のフロント バンパー ガーニッシュ、ロア グリル、フロント バンパー ロア ガーニッシュを取り外す。(サービスマニュアル参照)
 ※取り外したフロント バンパー ガーニッシュは、フロント アンダー スポイラーの取り付けには使用しない。

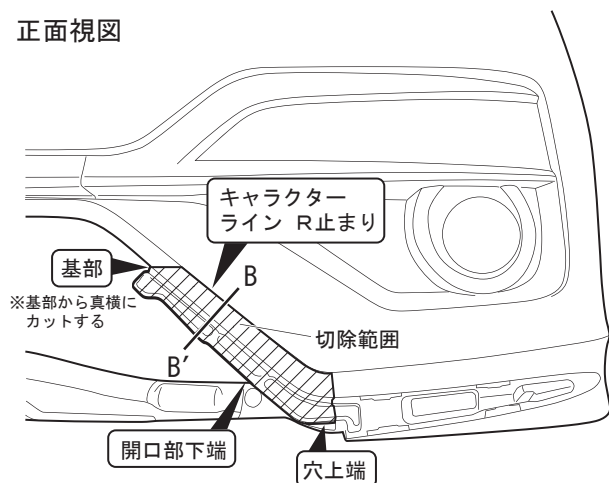


フロントバンパー下面視 (L側)

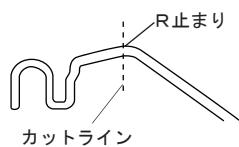


- ④フロント バンパー前面左右の下図斜線部を切除加工する。

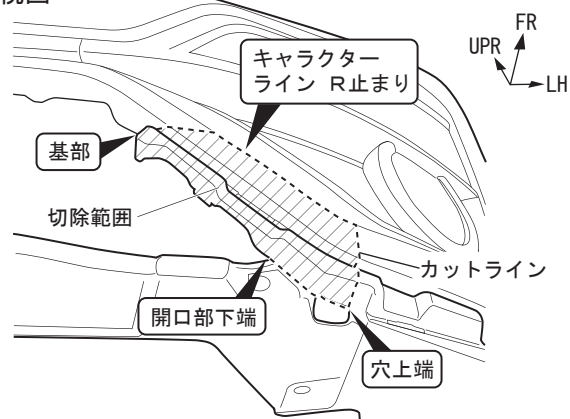
正面視図



B-B' 断面図



下面視図

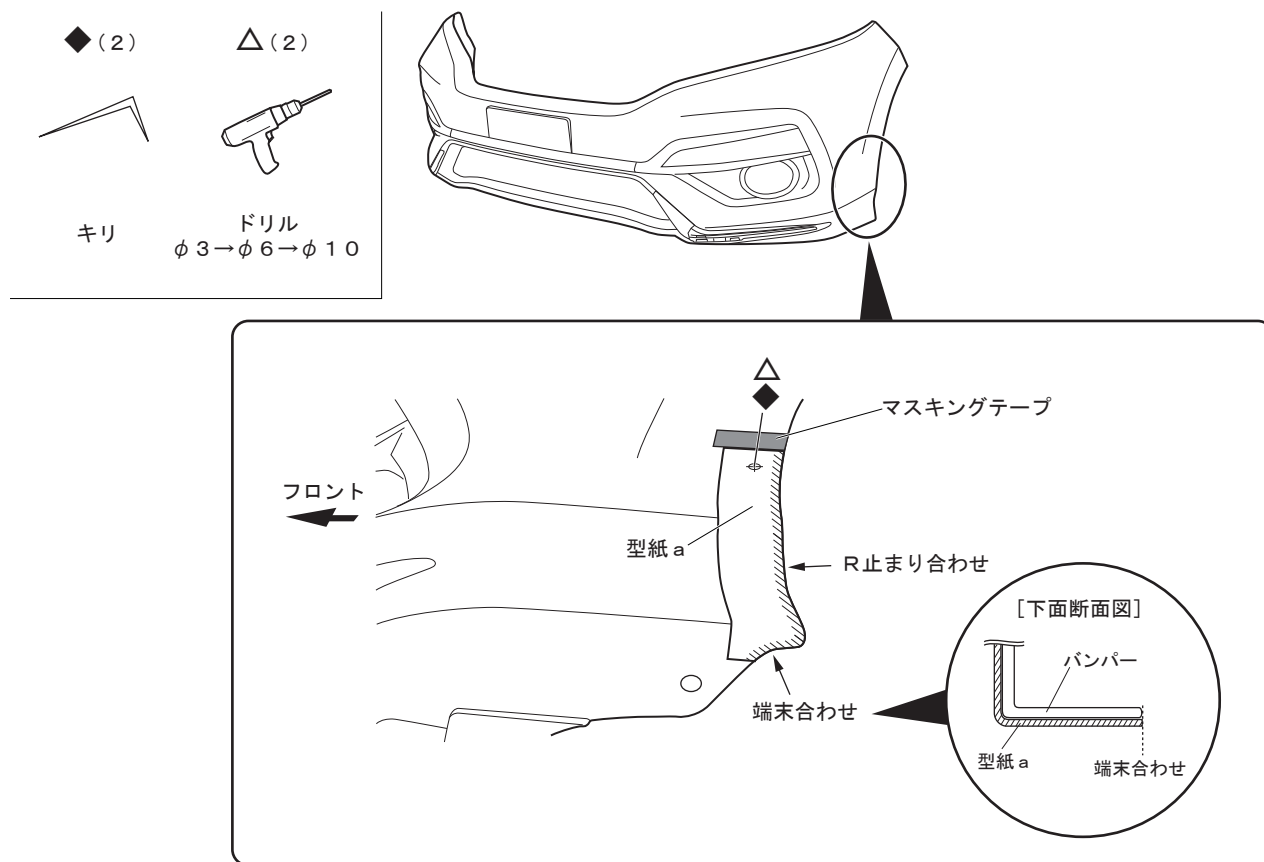


図示各部位を結ぶように切除する。

※R側も同様

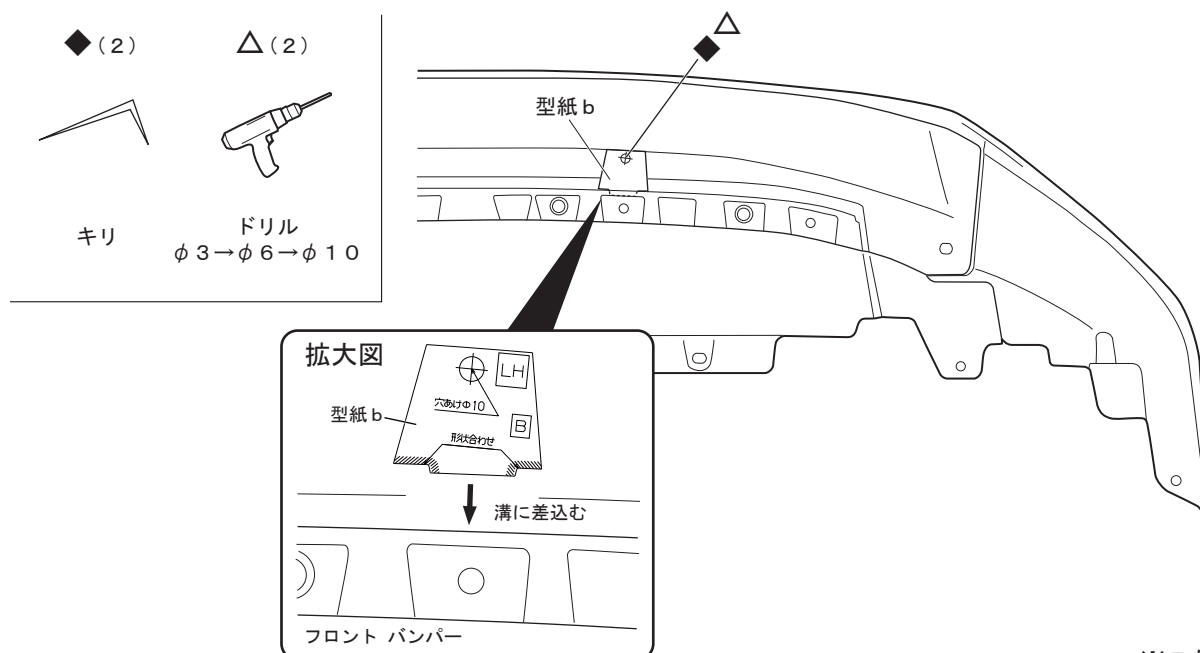
- ⑤ロア グリル、フロント バンパー ロア ガーニッシュをフロント バンパーに取り付ける。
 (サービスマニュアル参照)
 ※この段階では、クリップ (A) は取り付けないこと。

- ⑥フロント バンパーの側面に型紙 a を使って取り付け高さをマスキングテープでマーキングする。更に穴位置をキリでマーキングし、 $\phi 10$ の穴を左右各 1 ヶ所あける。
穴開け後は、穴周囲のバリを除去する。



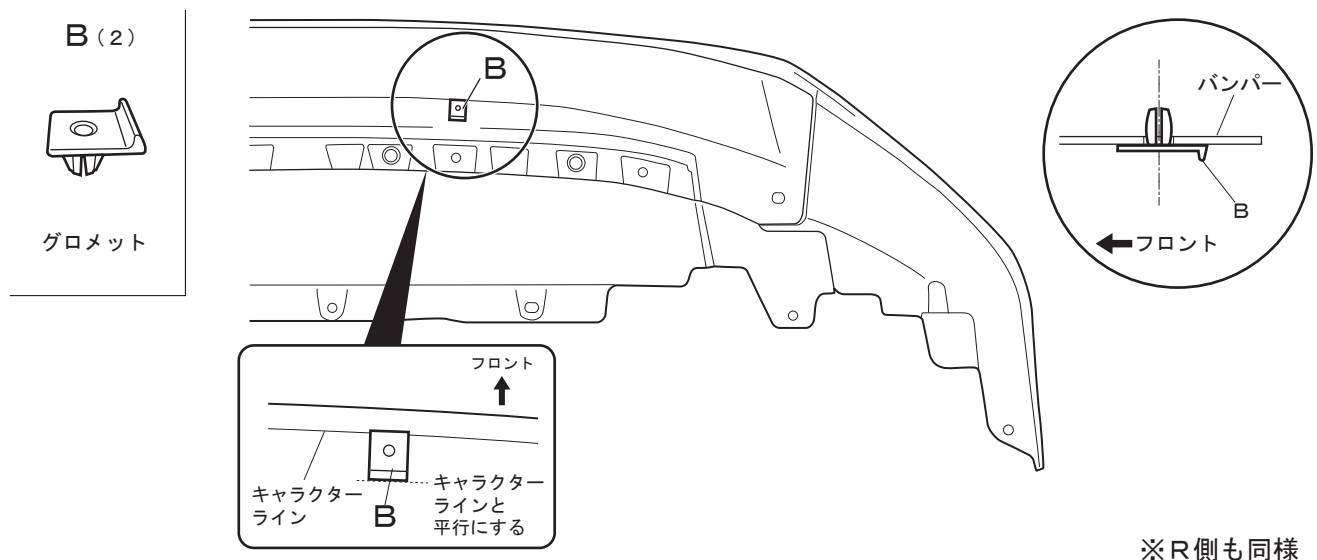
※R側も同様

- ⑦フロント バンパーの下面に型紙 b を使って位置をキリでマーキングし、 $\phi 10$ の穴を左右各 1 ヶ所あける。
穴開け後は、穴周囲のバリを除去する。

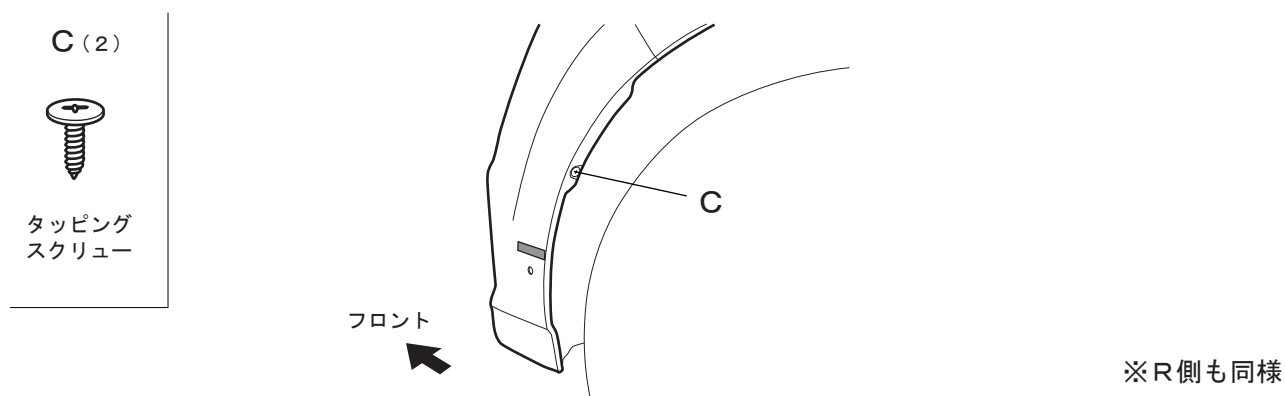


※R側も同様

⑧φ10の穴にグロメット（B）を取付ける。



⑨バンパー スポイラーをフロント バンパーに取り付け、フロントバンパーを車体に復元する。（サービスマニュアル参照）
※この段階では、クリップ（A）およびタッピングスクリュー（C）は取り付けないこと。

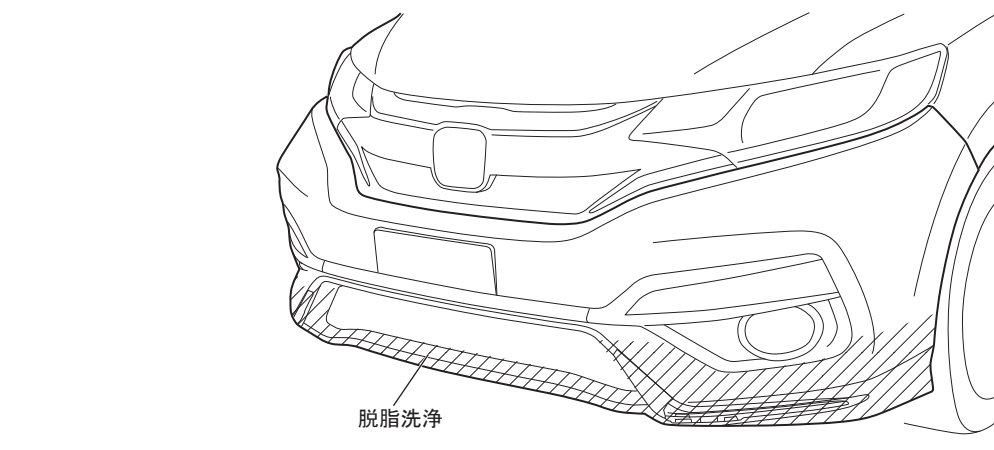


II. フロント アンダー スポイラーの取付

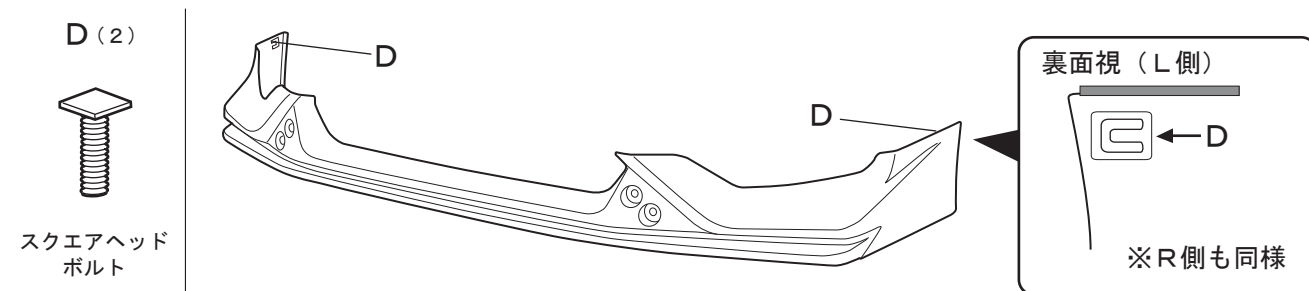
《注意》・フロント アンダー スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様にを行うこと。

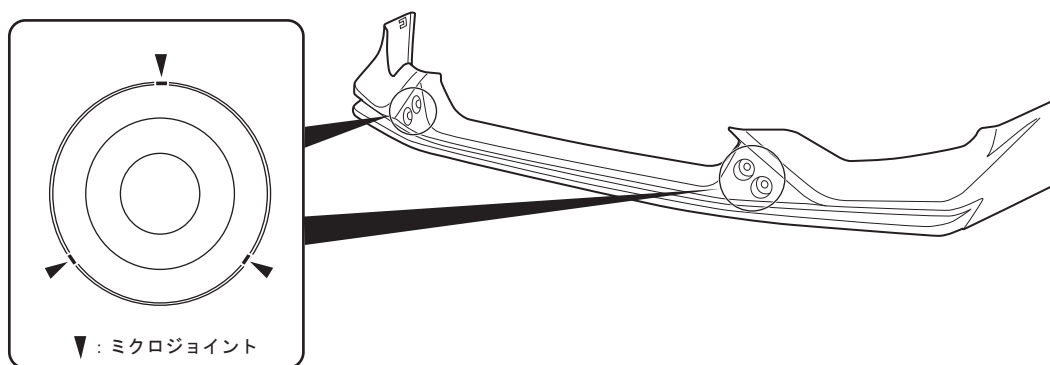
①フロント バンパーの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



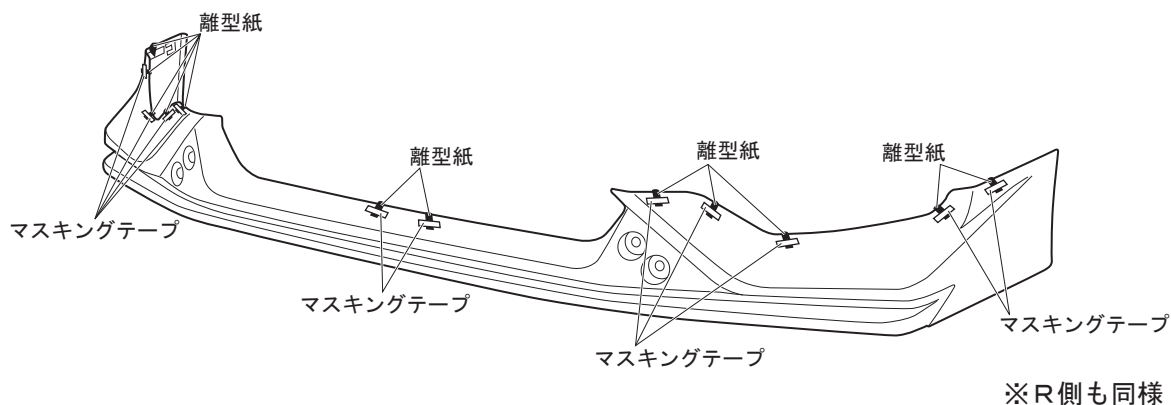
②フロント アンダー スポイラーにスクエアヘッドボルト（D）を取り付ける。



③エアロイルミネーション（33400-XMK -K0S0）を取り付ける場合は、フロント アンダー スポイラー左右4ヶ所の取り付け部のマイクロジョイントをカッター等でカットする。またエアロイルミネーションの取付・取扱説明書の指示に従い、エアロイルミネーションを取り付ける。
※意匠面に気を付けてバリを取る。



④フロント アンダー スポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表側に折り返してマスキングテープで固定する。

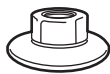


- ⑤フロント アンダー スポイラーを車両に仮当てし、側面の取り付け高さマーキングに合わせながらタッピングスクリュー（E）、フランジナット（F）、クリップ（A 再利用）で仮固定する。

E (2)

F (2)

A (4)

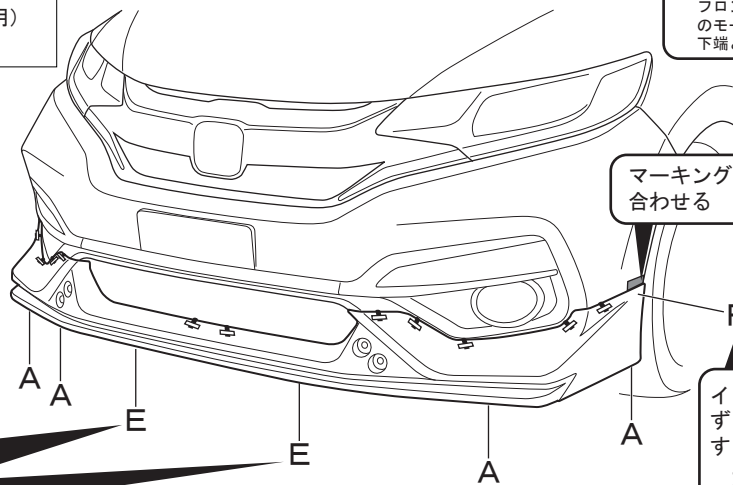
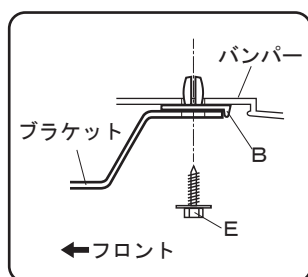
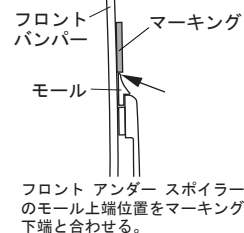


タッピング
スクリュー

フランジナット

クリップ
(再利用)

〔側面断面図〕



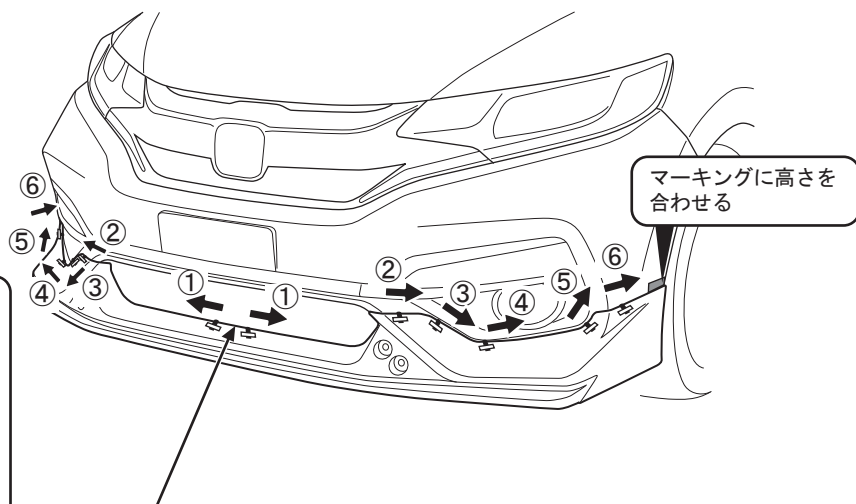
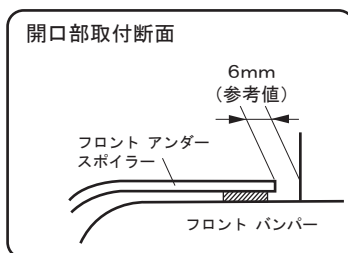
マーキングに高さを
合わせる

インナーフェンダーを
ずらし、裏側から固定
する。

本締め時トルク
1N・m
(0.1kgf・m)

※R側も同様

- ⑥取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に下記順番で引き抜く様に剥がし圧着する。



マーキングに高さを
合わせる

※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

注 意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

※R側も同様

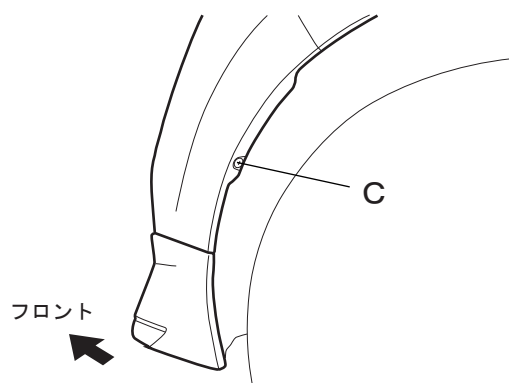
⑦フランジナット（F）を本締めする。

⑧インナーフェンダーを元に戻し、タッピングスクリュー（C）を取り付ける。

C (2)



タッピング
スクリュー
(再利用)



※R側も同様

⑨各部のスクリューを本締めし、取り付け状態が完全か確認する。